

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 30 日 (2020.4.30)

【公開番号】特開 2018-157277 (P2018-157277A)

【公開日】平成 30 年 10 月 4 日 (2018.10.4)

【年通号数】公開・登録公報 2018-038

【出願番号】特願 2017-50380 (P2017-50380)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/436 (2011.01)

H 0 4 N 21/4788 (2011.01)

G 1 0 K 15/02 (2006.01)

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

G 0 6 F 3/14 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 21/436

H 0 4 N 21/4788

G 1 0 K 15/02

G 0 6 F 3/16 5 3 0

G 0 6 F 3/16 5 4 0

G 0 6 F 3/14 4 0 0

G 0 6 F 13/00 6 5 0 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 13 日 (2020.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、

前記通信装置が表示している画面の画面データあるいは再生している音声の音声データとの少なくとも一方を他の通信装置に送信する第 1 の送信手段と、

外部装置が有するコンテンツの関連情報を前記他の通信装置に送信する第 2 の送信手段と、

前記第 1 の送信手段によって前記他の通信装置に前記画面データあるいは前記音声データの少なくとも一方を送信している際に前記第 2 の送信手段によって前記関連情報を送信した場合、前記第 1 の送信手段による送信を停止する停止手段と、

前記第 2 の送信手段によって前記関連情報を送信した場合に、前記関連情報に基づいて前記他の通信装置において行われる前記コンテンツの再生処理に関する状態の情報を前記他の通信装置から受信する受信手段と、

前記受信手段によって前記情報として前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報を受信した場合、前記停止手段によって停止した前記第 1 の送信手段による送信を再開するように制御する制御手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記コンテンツの関連情報は、前記コンテンツの識別子であることを特徴とする請求項

1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記受信手段により前記情報として前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報を受信した場合に前記第 1 の送信手段による送信を再開するか否かを選択するユーザ操作を受け付ける受付手段をさらに有し、

前記制御手段は、前記受付手段によって前記第 1 の送信手段による送信を再開することを選択するユーザ操作を受け付けた場合は、前記第 1 の送信手段による送信を再開するように制御し、前記受付手段によって前記第 1 の送信手段による送信を再開しないことを選択するユーザ操作を受け付けた場合は、前記第 1 の送信手段による送信を再開しないように制御することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記他の通信装置との無線通信を切断する切断手段をさらに有し、

前記制御手段は、前記受付手段によって前記第 1 の送信手段による送信を再開しないことを選択するユーザ操作を受け付けた場合は、前記切断手段によって前記他の通信装置との前記無線通信を切断するように制御することを特徴とする請求項 3 に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記第 2 の送信手段は、前記第 1 の受信手段によって前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報を受信した場合、前記他の通信装置の前記外部装置からの前記コンテンツの受信を終了させるための終了要求を送信することを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報とは、前記他の通信装置が前記コンテンツの再生の終了を指示するユーザ操作を受け付けたことを示す情報であることを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報とは、前記他の通信装置において前記コンテンツが終端まで再生されたことを示す情報であることを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報とは、前記他の通信装置において前記コンテンツの受信エラーが発生したことを示す情報であることを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 9】

前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報とは、前記他の通信装置において前記コンテンツの再生エラーが発生したことを示す情報であることを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 10】

前記受信手段により受信した前記情報に基づく表示を行うように制御する表示制御手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 から 9 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 11】

前記通信装置は、前記他の通信装置と W i - F i P 2 P 接続を確立することを特徴とする請求項 1 から 10 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 12】

前記通信装置は、前記他の通信装置と W i - F i D i s p l a y セッションを確立することを特徴とする請求項 1 から 11 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 13】

前記通信装置は、前記他の通信装置と I E E E 8 0 2 . 1 1 シリーズ規格に準拠した通信を行うことを特徴とする請求項 1 から 12 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 14】

前記第一の送信手段は、W i - F i M i r a c a s t 規格に準拠して、前記画面デー

タあるいは前記音声データの少なくとも一方を送信することを特徴とする請求項1から13の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項15】

通信装置の制御方法であって、

前記通信装置が表示している画面の画面データあるいは再生している音声の音声データとの少なくとも一方を他の通信装置に送信する第1の送信工程と、

外部装置が有するコンテンツの関連情報を前記他の通信装置に送信する第2の送信工程と、

前記第1の送信工程において前記他の通信装置に前記画面データあるいは前記音声データの少なくとも一方を送信している際に前記第2の送信工程において前記関連情報を送信した場合、前記第1の送信工程による送信を停止する停止工程と、

前記第2の送信工程において前記関連情報を送信した場合に、前記関連情報に基づいて前記他の通信装置において行われる前記コンテンツの再生処理に関する状態の情報を前記他の通信装置から受信する受信工程と、

前記受信工程において前記情報として前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報を受信した場合、前記停止手段によって停止した前記第1の送信工程における送信を再開するように制御する制御工程と、

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項16】

コンピュータを請求項1から14の何れか一項に記載の通信装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明の通信装置は、前記通信装置が表示している画面の画面データあるいは再生している音声の音声データとの少なくとも一方を他の通信装置に送信する第1の送信手段と、外部装置が有するコンテンツの関連情報を前記他の通信装置に送信する第2の送信手段と、前記第1の送信手段によって前記他の通信装置に前記画面データあるいは前記音声データの少なくとも一方を送信している際に前記第2の送信手段によって前記関連情報を送信した場合、前記第1の送信手段による送信を停止する停止手段と、前記第2の送信手段によって前記関連情報を送信した場合に、前記関連情報に基づいて前記他の通信装置において行われる前記コンテンツの再生処理に関する状態の情報を前記他の通信装置から受信する受信手段と、前記受信手段によって前記情報として前記コンテンツの再生処理が終了したことを示す情報を受信した場合、前記停止手段によって停止した前記第1の送信手段による送信を再開するように制御する制御手段と、を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】